

# 高齢者輝き表彰



荒川 忠さん (角館町裏町)

**野** 球分野では、昭和36年から野球審判員として、現在は秋田県軟式野球連盟仙北支部名誉会長として、永年、地域の野球競技発展のため、現在も野球競技運営の最前線で活躍されています。町内会では、高齢者世帯支援や町内道路等の清掃活動など積極的に活動し、漁業分野では、松木内川をアユ釣りの本場とするため、県内外への周知広報活動や大会誘致活動、川魚が住める環境整備活動など、多分野で地域の発展のために尽力されています。



堀川 敬紀さん (田沢湖田沢)

**役** 場を退職後、約10年間、花の苗を育てるボランティアを続けています。種蒔き、水の管理など丹精込めて育てられた苗は、その後、老人クラブ田沢寿会の皆さんによって、田沢交流センターや田沢出張所(当時)、田沢湖畔の花だんなどに植えられ、毎年美しい花を咲かせています。目が不自由な堀川さんは、この活動を通じて、市民の模範となり、明るい社会づくりに貢献されています。



大石 辰夫さん (田沢湖梅沢)

**貴** 重なる茅葺き職人として65年以上にわたり、茅葺き技術を開発・改良し続け、地域の茅葺き屋根を残していくために現役で仕事を継続されています。後世のため、後継者の育成を積極的にすすめ、せんぼくふるさとマイスターとして体験講座も行っています。今年も、重要文化財(建造物)に指定されている草薙家(田沢湖生保内)の茅葺きも手がけました。



佐藤 喜一さん (西木町小淵野)

**65** 年以上の永きにわたり茅葺きに携わってきました。地域の茅葺き屋根を残していくため、今は文化財建造物保存技術協会、全国国寺等屋根工事技術保存会の茅葺師として現役で仕事を継続されています。後世のために後継者の育成を積極的にすすめ、せんぼくふるさとマイスターとして体験講座も行っています。



鈴木 喜智夫さん (角館町上菅沢)

**平** 成元年から24年間にわたり、春夏秋冬ほぼ毎日角館町菅沢から岩瀬、小館、小勝田、北部まで町内全域のごみ拾いを継続されています。小さなごみ袋を数枚持ち歩き、空き缶、吸い殻、弁当の食べ残し容器、はては爪楊枝まで拾い集め、まちの美化に貢献されています。鈴木さんのごみ拾い活動は、散歩も兼ね、1日2万歩を超えることもあるそうです。



後藤 正子さん (角館町雲然)

仙北市では、明るい社会づくりの一環として、様々な分野で社会参加され、いきいきと活躍されている高齢者を地域の小学校で行われる学習発表会の場で表彰しています。平成25年度の表彰者9人をご紹介します。



明平 豊治さん (田沢湖梅沢)

**20** 歳から親方として日本全国をまわり、大工、造船、採石、その他様々な仕事をされて家族を支えてきました。65歳になって地元へ戻ったところ、牛や豚の扱いでがんばっていた奥様が病に倒れ、その後10年間の長きにわたり、献身的な介護を続けています。明平さんは「今まで無理をさせたから」と、食事の介助、おむつ交換、床ずれの手当などしながら、重度障がい者の奥様と共に生活をされています。



斉藤 忠一さん (田沢湖生保内)

**田** 沢湖高原や湖畔等で60年を超える調理師をされました。昭和55年に発足した田沢湖地区調理師の会(和会)では「山の芋鍋」を考案し、その会長を務められ、その後も老人ホームへ「山の芋鍋」を振る舞い、東日本大震災では3度にわたる山田町へのボランティア活動、避難者への料理の振る舞いを行っています。普段から料理教室講師や生保内地域運営体の役員として多方面にわたり活躍され、平成9年には調理師としての功績が認められ厚生大臣(当時)表彰を授与されました。



山本 悦子さん (角館町岩瀬町)

**63** 年間の永きにわたり大根、かぶ、タイナなど様々な野菜を作り続けてきました。平成元年から生活改善グループ(当時)として漬け物や餅菓子づくりに携わり、今でも毎週水・土・日曜には、立町ポケットパークで販売活動を行っています。昭和50年代からは、火振りかまくらで使用する炭俵づくりの先駆者として生産活動に尽力されました。中川小学校では、平成12年から10年近く嘱託指導員として課外体験学習、昔遊び、わら細工などを子どもたちに指導しました。